

(日宇地区“わがまち自慢”)

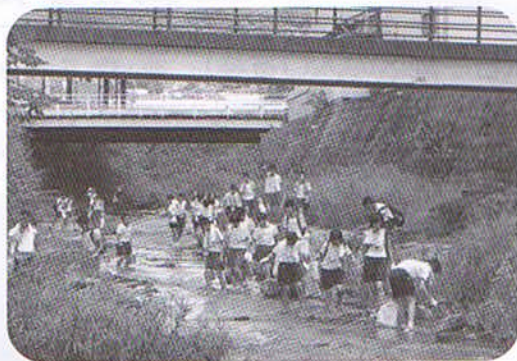
日宇地区には“自慢”がいっぱい！その一部を紹介します。

自然がいっぱい「日宇川」の流れ

烏帽子の山並みの東端「かくいだけ隠居岳」。このふもとを源流とする日宇川は、全長約5.5km。この間、兩岸に広がる町々が旧日宇村時代からのわがまち、日宇・黒髪地区です。

上流には「隠居の森 遊歩館」という施設があり、野生動物のはく製や、植物の標本が展示してあります。

また、少し下って黒髪大橋の周辺には「猫山ダム園地」があり、ウォーキングや親水池での水あそび、めだかとり、ほたる狩りなどが楽しめます。



木場浮立(1960年 長崎県無形民俗文化財指定)

木場浮立は、1690年(元禄3年)から317年間、佐賀県有田から黒髪町上木場に、継承されてきた農民の雨乞い行事です。毎年4月に保存会主催の研修発表会が行われ、地域住民が一体となって、親から子へ、子から孫へと何世代にもわたり伝承されてきました。

のほり・鉄砲・お道具・獅子・笛・鉦など、独特の楽器、衣装も往時のままで、歴史の重さが感じられます。

黒髪小学校・日宇中学校でも総合学習の一環として取り入れられています。

充実した公園

日宇地区には大小48の公園があり、その中でも規模が大きい「もみじが丘中央公園」は、約3年の工事の後、平成7年から使用されるようになりました。広さは2.9ha、遊具広場(複合遊具)とナイター設備のあるグラウンドでは、昼間は中学校のスケッチ会場や、幼稚園の遠足の場にもなっていて、夜はナイターでソフトボールの試合などが行われています。普段も、親子連れなどの明るい声が聞こえています。

このほかにも、花見ができて眺望も良い「猫山ダム園地」等があり、公園がとても充実しています。



白岳神社

遠い祖先より、日宇地区の鎮守様として白岳神社があります。今からおよそ420年前の天正6年頃、当時、日宇・佐世保の監視役であった後藤惟明ごとうこれあき(平戸領主松浦隆信の次男)が創建したと伝えられています。日本人の総氏神様である天照皇大御神の両親「伊弉諾尊いざなぎのみこと」、「伊弉美尊いざなみのみこと」と弟「素盞鳴尊すさのおのみこと」をお祀りしてあります。

私達の心のふるさととして初詣、宮参り、厄払い等、また、神社による祈年祭、新嘗祭等がおごそかに行われています。



【3】日宇地区を支える団体

◎自治連合会

昭和52年の発足以降、28の町内が連帯して、行政への協力をはじめ、文化祭の開催や各種文化団体の活動助成などを実施してきました。

しかし、地区内の人口と世帯数が増加している中で、コミュニティ意識の希薄化や急速に進む少子高齢化に対して、今後どのように活動を展開していくべきか、さらに検討する時期に来ていると考えられます。



◎民生委員児童委員協議会

日宇地区民生委員児童委員協議会は、主任児童委員も含め、現在47名で活動しています。

高齢者への支援や見守り、災害時における地域との連携を図るネットワークの形成、子育て支援の促進、虐待防止への取り組みについて、早期対応すると共に、必要に応じて各機関へつなげていく役割を積極的に推し進めています。



◎老人クラブ連絡協議会

日宇地区には老人クラブが17クラブあり、日宇小学校区には5クラブ(329名)、黒髪・大塔小学校区には12クラブ(751名)あります。

老人クラブ連絡協議会では、毎月会長会を行い、市老連の報告伝達事項を、各クラブへお知らせしています。最大行事として、毎年6月には演芸大会を行っています。その他、クラブ毎に資源回収等の活動を行っています。



◎日宇中学校区4校連絡協議会

日宇地区内の小中学校4校(日宇小学校・黒髪小学校・大塔小学校・日宇中学校)のPTAが集まり、学校と連携をとりながら活動しているのが、日宇中学校区4校連絡協議会です。

主に、夏には球技大会、秋には講演会を開催しており、地域の子どもたちが明るく楽しく成長できるように、PTAと学校、地域が一体となって活動しています。



◎青少年健全育成連絡協議会

将来の日本を担う青少年の健やかな成長を応援し、非行及び事故防止のために、地域・学校・PTA・民生委員児童委員・保護司・スポーツ少年団指導者・補導員からメンバーが集まって活動をしています。

月に2回の巡回補導の他、心を育てるために、「100年の森」の下払い・球技大会・もちつき大会・書き初め大会などの行事を行っています。



◎生涯学習推進会

日宇地区公民館で、生涯学習社会にふさわしい学習の基盤を整え、日宇の特性を生かした魅力的で活力あるまちづくりを進めています。

館区内の町内会・自治会・公民館、社会教育関係団体及び社会福祉団体等で組織し、推進事業を行っています。

地域の人たちの交流や学習の場として、文化祭などの文化活動や体育・レクリエーション活動、まちづくりやふるさとづくりなどの活動をしています。



【4】日宇地区福祉対策推進協議会の紹介

どのような団体？

福祉対策推進協議会（略称「福対協」）は、地域住民の身近な困りごとを把握し、その解決に向けて住民参加による活動に取り組み、より住みやすい地域づくりを進めるという役割を担った組織です。

日宇地区福対協は、昭和53年に設立され、構成団体のメンバーを中心に、住民の皆さんと一緒にさまざまな活動に取り組んでいます。

どのような人たちがメンバー？

民生委員児童委員、町内会・自治会、公民館、婦人部、老人クラブ、PTA、青少年健全育成連絡協議会、小中学校など、幅広いメンバーで構成されています。

主な活動は？

福対協は、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主なものを紹介いたします。

ふれあいネットワーク

近所づきあいが少なくなっていく中、「地域のみみなでお互いに見守り、助け合っていきましょう」という趣旨で、主にひとり暮らしの高齢者を対象とした活動です。日宇地区では50名あまりの方が対象となっていて、200名以上の方がそれを支えるネットワークの構成員として活動しています。

ふれあい・いきいきサロン

地域の中に「楽しく」、「気軽に」、「無理なく」どなたでも参加できる交流の場です。生きがいを通じて、介護や閉じこもり等の予防にもつながります。

また、世代を超えてふれあうことは、地域の活性化にもつながります。例えば、歌うこと、健康体操、卓球、会食、趣味、踊り、習字等、地域によってさまざまです。



囲碁・将棋クラブの様子

食事サービスボランティア

地域福祉事業の中でも重要な活動として、ひとり暮らし高齢者等への食事サービスに取り組んでいます。

4町で実施していて、年3回から6回、季節や行事に合わせた献立を考え、楽しんでもらえる食事会やお弁当配りと、工夫をこらしています。

今後は、このサービスに取り組む団体やボランティアを増やし、サービスを充実させていくことが課題といえます。



南高校の生徒もボランティアとして参加してくれました。

これからも、地域の様々な団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことでさらに充実した活動につながるのではないのでしょうか。

地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせ下さい。